

東海地区 三重ブロック協議会 地域総合戦略

2024年9月2日(提出日)

公益社団法人日本青年会議所

2025年度 東海地区三重ブロック協議会

会長 森下 巧麻

目次

1 三重ブロック協議会の現状	3
1.4 三重ブロック協議会内の LOM の状況	3
1.2 三重ブロック協議会の LOM 会員拡大実績	4
1.3 三重ブロック協議会内の各 LOM の入会 3 年未満会員の所属状況	5
1.4 三重ブロック協議会内の 10 名以下の LOM 及び要支援 LOM	6
1.5 三重ブロック協議会内の LOM の退会者数	9
1.6 三重ブロック協議会内の例会実施状況	10
1.7 三重ブロック協議会内の例会出席率	11
1.8 三重ブロック協議会内の LOM 拡大担当の有無と重任・再任について	12
1.9 三重ブロック協議会内の LOM の法人格について	13
1.10 三重ブロック協議会における直近 3 年間の議長・委員長の経歴確認	15
2 地域が描く理想の未来について	16
2.1 三重ブロック協議会の現状についての考察	16
2.2 三重ブロック会長として描く地域の理想の未来(長期的なビジョン)	16
2.3 2025 年度の方向性	17
2.4 前年度からの引継ぎを反映したアップデートポイント	17
3 基本方針	18
4 ブロック連携事業(政策手法)	19
①【プロ連】各地域における課題と質の高い運動の調査・研究及び全体最適化	19
②【プロ連】地域に眠る活用しきれていない資源の調査・発掘・研究	19
③【プロ連】誇れる組織への改革に向けた運動を加速させる各種プログラムの実施・支援	20
④【プロ連】ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用	20
⑤【プロ連】理念共感拡大グランドデザインの検証	21
5 ブロック独自の事業	22
⑥ スポーツ大会の開催と実施	22
⑦ 第 55 回三重ブロック大会の企画と実施	23
6 参考資料一覧	24

1 三重プロック協議会の現状

1.4 三重プロック協議会内の LOM の状況

■ブロック協議会内の LOM 期首会員数の推移(単位:名 半角数字)

LOM 名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
桑名 JC	16 名	13 名	15 名	16 名
四日市 JC	59 名	48 名	42 名	42 名
鈴鹿 JC	51 名	41 名	49 名	46 名
亀山 JC	7 名	6 名	3 名	3 名
伊賀 JC	7 名	7 名	7 名	4 名
名張 JC	18 名	16 名	11 名	7 名
津 JC	80 名	65 名	68 名	70 名
松阪 JC	38 名	29 名	33 名	34 名
伊勢 JC	15 名	15 名	14 名	22 名
鳥羽 JC	12 名	12 名	13 名	13 名
志摩 JC	29 名	27 名	24 名	26 名

1.2 三重ブロック協議会の LOM 会員拡大実績

■ブロック協議会内の LOM 会員拡大実績(単位:名 半角数字)

LOM 名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
桑名 JC	0 名	3 名	1 名	1 名
四日市 JC	3 名	3 名	5 名	5 名
鈴鹿 JC	0 名	15 名	2 名	10 名
亀山 JC	0 名	0 名	3 名	0 名
伊賀 JC	2 名	0 名	3 名	1 名
名張 JC	4 名	0 名	0 名	0 名
津 JC	9 名	8 名	9 名	11 名
松阪 JC	5 名	3 名	4 名	1 名
伊勢 JC	0 名	0 名	6 名	8 名
鳥羽 JC	0 名	4 名	1 名	2 名
志摩 JC	2 名	6 名	3 名	5 名

1.3 三重ブロック協議会内の各 LOM の入会 3 年未満会員の所属状況

■ブロック協議会内の LOM の入会 3 年未満会員数(単位:名 半角数字)

LOM 名	現在の会員数	入会 3 年未満会員数	比率(%)
桑名 JC	16 名	3 名	31%
四日市 JC	42 名	2 名	5%
鈴鹿 JC	46 名	27 名	59%
亀山 JC	3 名	0 名	0%
伊賀 JC	4 名	3 名	75%
名張 JC	5 名	2 名	29%
津 JC	70 名	29 名	41%
松阪 JC	34 名	13 名	38%
伊勢 JC	22 名	10 名	45%
鳥羽 JC	13 名	6 名	46%
志摩 JC	26 名	9 名	75%

1.4 三重ブロック協議会内の 10 名以下の LOM 及び要支援 LOM

10 人以下の LOM を記載

一社/公社	青年会議所名	人数	現在の状況
一社	亀山 <u>要支援 LOM</u>	3 人	三重ブロック協議会から監査担当役員をブロック内出向で輩出。8 月に事業開催、12 月にも事業開催予定。また本会 LOM 支援委員会のもと、伊賀 JC と会員拡大のためのキャンプと防災を絡めた事業を 6 月に開催予定であったが、天候の関係で延期、9 月以降に開催を模索中。 現在(9 月 5 日時点)2 名で活動を行っています。 例会は行えていないが、事業は本年度 3 回行う予定です。本会の会員拡大委員会等を活用し、入会者を増やす試みを行う。予定者段階でヒアリングを重ね、必要な支援体制がどういったものなのか、その要望に合わせ 11 月に体制を決定、12 月の本次年度で本年度から引継ぎをして1月から支援を開始。
一社	伊賀 <u>要支援 LOM</u>	4 人	現状 LOM で議案を書き、事業、例会を開催出来ている。理事長を始め、現役メンバーの半数以上が入会 3 年未満。本会 LOM 支援委員会の協力のもと、亀山 JC と共同でキャンプと防災を絡めた事業を開催予定(天候により 6 月予定が延期)。LOM としての課題は例会の参加率は高いが、本会、地区、ブロック等の対外の

			事業への参加率が低い。他 LOM の JC 活動に前向きな人員との関りによって、メンバーを JC に対して前向きに変化をさせたい、また対外の事業への参加率を上げたいと考えているため、次年度以降の出向へのメンバー輩出を前向きに検討中。本会、地区、ブロック等の出向情報提供を希望。本年は新入会員 1 名。 伊賀 JC の 2025 年度のスケジュール として、対外事業の開催を予定しています。3 年計画で 30 人のメンバー増員を目指し、12 回の例会の開催を目標にしています。予定者段階でヒアリングを重ね、必要な支援体制がどういったものなのか、その要望に合わせ 11 月に体制を決定、12 月の本次年度で本年度から引継ぎをして 1 月から支援を開始。
一社	名張 <u>要支援 LOM</u>	5 人	本年初旬に拡大のための事業として候補生との交流会を開催。それ以降 LOM で事業開催が出来ていません。例会はメンバーで集まり、今後どうするかの話し合いを行っていました。24 年度本会の社会構想会議とのマッチングを提案したが LOM から断られました。理事長、副理事長、専務等の執行部間で LOM 運営の意識統一が出来ておらず、解散という声もメンバーから上がっています

			<p>ました。本会 LOM 支援委員会と共に名張を訪問、名張 JC のメンバー、OB との話合いを行い LOM の状況等を確認しました。理事長は存続の意向であり、話合いを行い中期ビジョンを策定したが LOM 内で落とし込みが出来ませんでした。LOM 内での話合いの結果、2025 年度には解散を視野に入れた理事長が就く予定となった(2024 年 9 月 4 日現在、総会未決議)。OB は解散を防ぐためにバックアップをするとの確認はとれています。2025 年度の三重ブロック協議会も解散を防ぐため 2024 年度三重ブロック協議会 水谷 会長が出向者として直接的支援を名張 LOM に行い存続を目指していきます。</p>
--	--	--	--

1.5 三重ブロック協議会内の LOM の退会者数

■ブロック協議会内の LOM の退会者数(単位:名 半角数字)

LOM 名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
桑名 JC	0 名	0 名	0 名	0 名
四日市 JC	1 名	2 名	3 名	0 名
鈴鹿 JC	0 名	0 名	0 名	0 名
亀山 JC	0 名	1 名	0 名	0 名
伊賀 JC	2 名	0 名	0 名	1 名
名張 JC	0 名	1 名	0 名	0 名
津 JC	0 名	0 名	0 名	0 名
松阪 JC	7 名	0 名	0 名	1 名
伊勢 JC	0 名	0 名	0 名	0 名
鳥羽 JC	1 名	0 名	0 名	0 名
志摩 JC	0 名	1 名	0 名	0 名

1.6 三重ブロック協議会内の例会実施状況

■ブロック協議会内の例会実施状況(単位:回 半角数字)、及び、対外例会・事業実施状況

LOM 名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2024 年対外 例会・事業回数
桑名 JC	12 回	12 回	12 回	12 回	5 回
四日市 JC	12 回	12 回	12 回	12 回	10 回
鈴鹿 JC	10 回	10 回	10 回	10 回	5 回
亀山 JC	6 回	6 回	0 回	0 回	3 回
伊賀 JC	8 回	9 回	4 回	4 回	3 回
名張 JC	11 回	12 回	12 回	0 回	2 回
津 JC	8 回	12 回	12 回	12 回	4 回
松阪 JC	12 回	12 回	12 回	12 回	8 回
伊勢 JC	12 回	12 回	12 回	12 回	2 回
鳥羽 JC	10 回	10 回	10 回	10 回	4 回
志摩 JC	12 回	12 回	12 回	12 回	6 回

1.7 三重ブロック協議会内の例会出席率

■ブロック協議会内の LOM 例会出席率(年間平均)(単位:% 小数点以下無し 半角数字)

LOM 名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
桑名 JC	70%	70%	80%	84%
四日市 JC	90%	82%	89%	86%
鈴鹿 JC	81%	75%	80%	80%
亀山 JC	100%	100%	0%	0%
伊賀 JC	85%	85%	85%	93%
名張 JC	71%	72%	70%	0%
津 JC	53%	57%	67%	83%
松阪 JC	80%	95%	86%	86%
伊勢 JC	81%	80%	91%	89%
鳥羽 JC	94%	80%	77%	94%
志摩 JC	70%	70%	77%	79%

1.8 三重ブロック協議会内の LOM 拡大担当の有無と重任・再任について

■各 LOM の拡大担当(会議・委員会・担当者)の有無と役職の重任・再任について(2024 年度)

LOM 名	拡大担当 (会議・委員会・担当者)の有無	過去 3 年間における 理事長・専務職の重任・再任
桑名 JC	○	×
四日市 JC	○	×
鈴鹿 JC	○	×
亀山 JC	○	○
伊賀 JC	○	○
名張 JC	○	○
津 JC	○	×
松阪 JC	○	×
伊勢 JC	○	×
鳥羽 JC	○	×
志摩 JC	○	×

1.9 三重ブロック協議会内の LOM の法人格について

■各 LOM の法人格について

LOM 名	現状の法人格	法人格変更歴	法人格変更予定(無い場合は空欄)
桑名 JC	一般	2013 年	
四日市 JC	一般	2012 年	
鈴鹿 JC	一般	2013 年	
亀山 JC	一般	2013 年	
伊賀 JC	一般	2013 年	
名張 JC	一般	2013 年	
津 JC	公益	2013 年	
松阪 JC	公益	2011 年	
伊勢 JC	一般	2012 年	
鳥羽 JC	一般	2013 年	
志摩 JC	一般	2019 年	

■ ブロック内の LOM の課題

LOM 名	ヒアリングした課題
桑名 JC	会員拡大。入会の敷居が高いと思われている。
四日市 JC	会員数の拡大と次の担い手への経験。
鈴鹿 JC	会員数の増大と個々の経験値の蓄積が必要。
亀山 JC	会員拡大。人財育成。地域を巻き込んだ事業の展開が必要。
伊賀 JC	会員拡大。地域を巻き込んだ事業の展開が必要。会員数が5名と少なく、意欲の低い会員が多いため、能動的に活動できる人財がない。
名張 JC	会員拡大と組織力アップ。事業を行っていない現状を克服することが必要。
津 JC	会員拡大と会員の事業や例会への参加率向上が課題。
松阪 JC	会員拡大。委員会・例会出席率の向上。例会・事業議案のクオリティ向上。
伊勢 JC	過半数がアカデミー対象者、特に去年と今年での入会者が組織の約半数を占めるので、そのメンバー達をどう教育し、組織に定着させていくかが課題。
鳥羽 JC	2024 年度に経験豊富なメンバーが 4 名卒業。新入会員の会員開発。いかに自己成長の機会を提供できるかが大きな課題である。会員拡大も重要なポイント。
志摩 JC	過半数がアカデミー対象者。JC 活動に率先的な参加意欲向上が必要。会員開発がカギを握る。

1.10 三重ブロック協議会における直近 3 年間の議長・委員長の経歴確認

■ブロック協議会における議長・委員長の経歴確認

年度	役職	名前	LOM での 理事経験の有無	入会後 何年目か
2024 年度役員	委員長	中井 和昌	有	6 年目
	委員長	磯部 宗和	有	6 年目
	委員長	内田 崇史	無	1 年目
2023 年度役員	委員長	岩脇 峰生	有	9 年目
	委員長	北山 信吾	有	7 年目
	委員長	風間 光	有	7 年目
2022 年度役員	委員長	薰田 匡史	有	4 年目
	委員長	茂知野 公宏	有	6 年目
	委員長	刑部 聖士	有	5 年目

2 地域が描く理想の未来について

2.1 三重ブロック協議会の現状についての考察

各 LOM の会員数や会員拡大の状況、例会実施の状況などにおいて、いくつかの共通する課題と成功事例が見受けられます。まず、会員数の推移を見てみると、多くの LOM で会員数が減少傾向にあることが確認されます。特に亀山 JC や名張 JC などの小規模な LOM では、会員数が著しく少なく、活動の維持が難しい状況に直面しています。一方で、津 JC や鈴鹿 JC のように、一定の会員拡大を成功させている LOM も存在しますが、その成長は持続的ではなく、拡大後の会員の定着が課題となっています。また、入会 3 年未満の会員が多い LOM ほど、活動の活発さが見られる反面、会員の経験値が不足していることが問題として浮上しています。例えば、鈴鹿 JC では入会 3 年未満の会員が約 6 割を占めており、今後のリーダーシップの育成が急務です。さらに、例会の実施回数や出席率にも LOM ごとのばらつきがあり、例会を通じた会員の結束やスキル向上の機会が十分に確保されていないことが懸念されます。要支援 LOM として挙げられている亀山 JC、伊賀 JC、名張 JC などは会員数の少なさに加え、事業運営や地域貢献活動の実施が困難な状況にあり、内部での意識統一や組織の再建が急務です。また、会員拡大が多くの LOM で共通の課題となっており、入会の敷居の高さや新規会員への教育・定着の方法が、今後の大きな課題となっています。総じて、三重ブロック協議会は会員拡大の成功と、その定着をどのように達成するかが鍵となっており、各 LOM の連携や支援体制の強化、会員のモチベーション向上に向けた取り組みが必要不可欠です。

2.2 三重ブロック会長として描く地域の理想の未来(長期的なビジョン)

2025 年度三重ブロック会長として、私は三重県の各地域が潜在力を最大限に發揮し、新たな挑戦を続ける未来を描きます。北勢地区(桑名、四日市、鈴鹿)は産業と人財の中心として、三重全体をリードする先進的な拠点へと成長させます。西部地区(名張、伊賀、亀山)は再生と活性化を図り、新たな価値創造に挑戦します。中勢地区(津、松阪)は、世界に誇る資源を持ち、未来のリーダーを育成し地域の飛躍を目指します。南勢地区(伊勢、鳥羽、志摩)は観光と伝統的食文化を活用し、アドベンチャーツーリズムに取り組みます。三重ブロック全体が一丸となり、連携と革新を進め、持続可能な未来を創り上げ、希望と笑顔あふれる三重を実現します。

2.3 2025 年度の方向性

2025 年度の三重ブロック協議会は、10 名以下の少数 LOM を全面支援し、協力や事業構築を通じて地域課題の解決に取り組みます。会員拡大には日本青年会議所の会員拡大委員会を積極活用し、LOM との連携を強化します。SNS 支援で独自の事業や対外例会を広く周知し、事業拡大や広報戦略に貢献します。そして議論を重ね、組織の強化と発展を目指します。ブロック連携事業では、各地域の課題解決と資源活用を推進し、JAYCEE 育成や理念共感の拡大を通じて、LOM の発展を支援します。また、三重ブロック大会を開催し、11LOM との協力関係を深め、地域全体の結束力と持続的な発展を目指します。

2.4 前年度からの引継ぎを反映したアップデートポイント

□前年度は少数 LOM 支援に対してヒアリングと MTG を実施。本年度は実働的支援として三重ブロック協議会より LOM 支援出向者を輩出します。

□事業構築を進める中で前年度以上に SNS を活用した広報戦略を行います。

□日本青年会議所が掲げるブロック協議会連携事業を前年度以上に具体的戦略を組み立て成果と効果をもたらします。

3 基本方針

基本方針

MAKE FUNNY FLASH

結束力が実現する笑顔に満ちあふれた三重の創造

解説:この基本方針は、結束力を通じて地域の笑顔と活力を引き出し、三重をより魅力的で楽しい場所にすることを目指します。面白い瞬間を創り出し、地域全体の結束を強化します。

事業計画

1. 【プロ連】各地域における課題と質の高い運動の調査・研究及び全体最適化
2. 【プロ連】地域に眠る活用しきれていない資源の調査・発掘・研究
3. 【プロ連】誇れる組織への改革に向けた運動を加速させる各種プログラムの実施・支援
4. 【プロ連】ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用支援
5. 【プロ連】理念共感拡大グランドデザインの検証
6. 第 55 回三重ブロック大会の企画と実施
7. **スポーツ大会の企画と実施**

4 ブロック連携事業(政策手法)

①【プロ連】各地域における課題と質の高い運動の調査・研究及び全体最適化

■本会方針

各地域から全体最適化が可能な質の高い事業を収集することで、地域間の連携を強化し、外部からの視点を取り入れ地域の魅力を発掘します。その魅力を地域内の各種ステークホルダーや地域間の協力により、各地で使える枠組みにして全国に広めることを目的とします。

■ブロックでの実施方法

早期に三重県内の各地域の質の高い事業を収集し、調査を行い本会に提出します。調査結果を基に本会から提案される企画・立案の全体最適化が行われた後に全体最適化された事業の展開をLOMにて行います。その事業を全国へ広めるためのフォローアップを三重ブロック協議会が行います。

■ブロックでの実施時期

2025年7、8月

②【プロ連】地域に眠る活用しきれていない資源の調査・発掘・研究

■本会方針

年間を通じて、地域に眠る活用しきれていない資源を外部の視点を交えて調査発掘します。有識者や、関係機関と連携し、経済活動として利益を生み出しつつ環境保全にも貢献する好循環モデルを研究します。

■ブロックでの実施方法

三重県伊勢市の伊勢神宮おかげ横丁の活用しきれていない夜の時間帯について、赤福・伊勢福、伊勢市観光協会、伊勢志摩観光コンベンション機構、伊勢青年会議所、三重県内各LOMと連携し調査発掘を行います。普段知られていない、夜のおかげ横丁の環境を損なうことなく、経済効果を生み出す好循環モデルを研究し、6月下旬には事業を実施します。

■ブロックでの実施時期

2025年6月下旬

③【プロ連】誇れる組織への改革に向けた運動を加速させる各種プログラムの実施・支援

■本会方針

JC プログラムの JCI Achieve や JCI Impact をブロック協議会主導で開催します。地域の課題を見出し、地域社会を巻き込んだ事業を行うための JCI アクションフレーム(JAF)を活用し、社会参加の概念や地域コミュニティのニーズの分析で運動構築のヒントを得ることを目的にブロック協議会と連携しながら支援を行います。

■ブロックでの実施方法

ブロック協議会主導で各 LOM の中間層向けに JCI Achieve や JCI Impact を年間計画に基づき開催します。また、JCI アクションフレーム (JAF) を活用し、地域社会と連携する各 LOM のプロジェクト構築を支援します。フィードバックを収集し、各 LOM に成果を報告・共有します。これにより、誇れる組織への改革を加速します。

■ブロックでの実施時期

2025 年 1、9 月迄

④【プロ連】ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用

■本会方針

組織を活性化させるためにはメンバーが共通の価値観を持つことが不可欠ですが、現状は JC 在籍歴が短いメンバーが多く、必ずしも価値観が統一できていない状態にあります。まずは各地域に共通して適用できる育成カリキュラムを、協議会と連携して実施する必要があります。JAYCEE 育成カリキュラムの運用支援を行い、共通の価値観をもったリーダーたる人財を育成することで、組織を前進させることを目指します。

■ブロックでの実施方法

三重県内の各 LOM で、共通の価値観を醸成するための JAYCEE 育成カリキュラムを導入します。カリキュラムの導入にあたり、**本会と連携して**各地域でのワークショップや研修会を開催し、メンバーが共通の価値観を身につける機会を提供します。また、カリキュラムの運用状況を定期的にフォローアップし、効果的な運用を確保するための改善点を共有します。**複数回の開催を行う事**で参加できない方も一度はアカデミーを受けられるようにします。地域間での交流を通じて、各地域のリーダーシップ育成を促進し、組織全体の連携を強化します。

■ブロックでの実施時期

2025 年 1～9 月迄

⑤【プロ連】理念共感拡大グランドデザインの検証

■本会方針

人が自然と集まる組織をビジョンに掲げた中期計画の理念共感拡大グランドデザインが最終年度をむかえるにあたり、現状の把握と5年間の効果について調査する必要があります。理念浸透サーベイの実施とその分析を軸に、目標達成に向けた理念浸透率や具体的なアクションの促進状況についてブロック協議会と連携し、検証を行います。

■ブロックでの実施方法

理念浸透サーベイを三重県内の各LOMで実施するように依頼を行い、会員一人ひとりがどの程度理念を理解し、共感しているかを測定した結果をまとめます。このまとめを基に、過去5年間の活動における理念浸透率と具体的なアクションの促進状況を分析し、最終年度における理念共感拡大グランドデザインの検証を行い本会に提出します。その後、各LOMに対して個別のフィードバックを行い、どの部分が強化されるべきか、また今後どのようなアクションが必要かを分析し明確にします。

■ブロックでの実施時期

2024年11～2025年6月迄

5 ブロック独自の事業

⑥ スポーツ大会の開催と実施

■背景

地域の活性化には、異なるバックグラウンドを持つ人々が協力し合うことが不可欠です。三重県内の青年会議所に所属する会員が、スポーツを通じて交流を深め、共通の目標を持つことで、地域全体の連携力を強化することが求められています。

■目的

スポーツを通じて、三重県内の各青年会議所の会員がグッドルーザーの精神を共有し、地域間の垣根を超えた友情と絆を深め、会員間の信頼関係を築くことを目的とします。

■推進体制

連携パートナー

- 1) 各 LOM(協力)
- 2) 鈴鹿市(開催地)

参加対象者:

- 1) 三重県内 11LOM

■施策の詳細

三重県内 11LOM の会員が参加するスポーツ事業を鈴鹿で開催し、各 LOM の会員同士が競技を通じて交流します。競技終了後には表彰式も行います。事業後、交流を図る大懇親会も開催します。

⑦ 第 55 回三重ブロック大会の企画と実施

■背景

三重県内の 11LOM は、それぞれが独自の活動を展開してきましたが、全体の連携と協力を強化するためには、共通の目標を共有し、集大成としての結束を図る場が求められています。

■目的

三重県内の 11LOM が一堂に会し、集大成の場として結束力を深める大会の開催を目的とする。

■推進体制

連携パートナー：

- 1) 三重県
- 2) 地域住民(協力)
- 3) 各 LOM(協力)
- 4) 鈴鹿市(開催地)

参加対象者：

- 1) 三重県民及び三重県内 11LOM
- 2) 一般住民

■施策の詳細

第 55 回三重ブロック大会では、三重県内 11LOM と地域住民が協力し、各 LOM のブースで各地域の特色や成果を紹介する展示ブースやワークショップを開催します。また、共通の目標に基づくステージ発表を各 LOM が行いつながりを強化します。鈴鹿市を開催地とし、三重県民や一般住民も参加できる三重ブロック大会を通じて、絆を深め、結束力を高める場とします。

6 参考資料一覧

・鈴鹿市観光ガイド

URL : <https://www.kanko.suzuka.mie.jp/>

・伊勢市ホームページ

URL :

<https://www.city.ise.mie.jp/shisei/information/1004260.html#:~:text=%E4%BC%8A%E5%8B%A2%E5%BF%97%E6%91%A9%E5%9B%BD%E7%AB%8B%E5%85%AC%E5%9C%92%E3%81%AE,%E3%81%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E6%A0%84%E3%81%88%E3%81%A6%E3%81%8D%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82>

・志摩市ホームページ

URL :

<https://www.city.shima.mie.jp/umitokurasu/index.html#:~:text=%E5%BF%97%E6%91%A9%E5%B8%82%E3%81%AF%E3%80%81%E5%B8%82%E5%85%A8%E4%BD%93,%E3%81%8C%E5%85%B1%E7%94%9F%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>

・キオクシア株式会社 四日市市の魅力

URL :

<https://www.kioxia.com/ja-jp/about/yokkaichi/appeal.html#:~:text=%E5%9B%9B%E6%97%A5%E5%B8%82%E6%B8%AF%E3%82%92%E4%B8%AD%E5%BF%83%E3%81%AB,%E3%81%9F%E9%85%92%E9%80%A0%E3%82%8A%E3%82%82%E7%9B%9B%E3%82%93%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82>

・松阪市役所 ホームページ

URL : <https://www.city.matsusaka.mie.jp/>

・伊賀市役所 ホームページ

URL : <https://www.city.iga.lg.jp/>

・亀山市役所 ホームページ

URL : <https://www.city.kameyama.mie.jp/>

・津市役所

URL:

<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/100100008461/index.html#:~:text=%E6%B4%A5%E5%B8%82%E3%81%AF%E3%80%81%E6%9D%B1%E3%81%AF,%E3%81%97%E3%82%84%E3%81%99%E3%81%84%E7%92%B0%E5%A2%83%E3%81%AB%E3%81%82%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>

・名張市役所 人口・統計

URL: <https://www.city.nabari.lg.jp/130/300/index.html>

・鳥羽市役所

URL: <https://www.city.toba.mie.jp/index.html>

・桑名市のタウン情報／ご当地あれこれ検索 | ホームメイト

URL: <https://www.homemate.co.jp/town/pr-mie/24205/#:~:text=%E5%B8%82%E5%86%85%E3%81%AB%E3%81%AF%E5%A4%9A%E3%81%8F,%E8%A6%B3%E5%85%89%E9%83%BD%E5%B8%82%E3%81%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E3%82%82%E7%99%BA%E5%B1%95%E3%80%82>

以上